



よいのだろうか
若松 小夜子長崎の正音より

消されてしまつて

霧のごとくに

父や母のよう

人間は



'96 7.7 SUN

開場13:00 開演14:00

黒部市国際文化センター コラーレ(大ホール)

入場料／1,200円（全席自由）当日1,500円

プレイガイド／コラーレ・メルシー・魚津サンプラザ・コスモ21・アスカ・インフォマート（市民プラザ、CiC）

お問い合わせ／財団法人黒部市国際文化センター
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207



黒木和雄監督作品
田原馬二 楠賀横入な伊森水絵草殿長國佐黒仙南桃井道
中田潤木原山江べ山永島沢野山門野田進一郎アーザー^{かおり}
邦芳晴子夏道トシ江子代若おさみひろ子葉萌大泰裕子悟司之
雄達夫和雄井上正子竹内統一郎^{かおり}
美術内藤真紀夫音楽松村頃三脚本黒木嘉夫^{著者井上正子}
撮影鈴木達夫原作井上光晴^{著者井上正子}
製作リードエース/日本ラルフ映画^{脚本}
制作・ライターバージョン
脚本・鈴木達夫^{脚本}
製作・内藤真紀夫^{脚本}
撮影・鈴木達夫^{撮影}
音楽・松村頃三^{音楽}
脚本・黒木嘉夫^{脚本}
原作・井上光晴^{原作}
脚本・黒木嘉夫^{脚本}

世界の名画を見る会Vol. 2



■講演：高野悦子（岩波ホール総支配人）
<演題>わたしの青春

■上映作品：「Tomorrow」（日本映画）

1996年「世界の名画を見る会」Vol. 3 企画／高野悦子
■講演：高野悦子
■上映作品：ニュー・シネマ・パラダイス

「世界の名画を見る会」は3年間（年3回）開催します。

喜び、悲しみ、苦しみのくり返しの中で

小さな併せを見つけて現実に生きる普通の市民の生活を、何のことわりもなしにぶちこわしてしまった原爆を許すことはできない。

原爆で殺されるより原爆反対で殺されるほうを選ばたいと思う心をこの映画によつて更に勇気づけられた。

■秋山ちえ子（評論家）

黒木和雄監督は、静かな日常的な人間ドラマを映画の画面に営々と積み上げ重ねていくことによって、終局的には映像に、異常な人間抹殺の悲劇というものを、まさにスクリーンが張り裂けんばかりの迫力で、描きあげることに成功している。

これは1988年の日本映画のなしとげた、とても優れた仕事の一つといえるだろう。

■白井佳夫（映画評論家）

「明日」は悲痛な映画である。敗戦のあの夏、私たちの日常はたしかにこうであった。
いつこの世が地獄になつても不思議ではないことを知つていながら、平気で日々を過ごしていた。
そして事実、この世は地獄になつた。この「明日」が、本当に明日のことかもしれないことを、いま、われわれは知つている。おだやかで、やさしくて、怖ろしい映画である。

■佐藤忠男（映画評論家）

ここには無名の人々が、生きて“いる”。

端正なまでに慎やかな人間の姿がある、暮らしがある。彼らの“いのち”がある。

そのいとしさが、たまらないのである。抑制をきかせながら、こぼれる郷愁の香りは、

けれどセンメンタルではなく、透明だ。ラストの処理も見事である。

■南俊子（映画評論家）（キネマ旬報一月下旬号より）

TOMORROW 明日



桃井かおり／南 果歩／黒田アーサー／佐野史郎／岡野進一郎／仙道敦子／長門裕之／原田芳雄／田中邦衛

製作：鍋島壽夫／原作：井上光晴「明日-1945年8月8日・長崎」（集英社文庫）

黒木和雄監督作品 ● 上映時間：1時間45分 ● 1988年作品／カラー／ピースタサイズ ● 製作：ライトビジョン／沢井プロダクション／創映新社 ● 製作協力：大武幸夫（晃栄トレーディング）

解説

「TOMORROW/明日」は、『今日』の続としての来たるべき『明日』を迎えることができなかつた人々の物語である。1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、75,000名の人々が爆死、街は一瞬に破壊された。

この映画は、その前日の8月8日から爆弾投下直前までの長崎の庶民群像、死を運命づけられながらそれと知らない人々の日常ドラマを淡々と描いた作品である。原作は井上光晴の「明日-1945年8月8日・長崎」（集英社文庫）である。

戦時下のささやかな結婚式からはじまるこのドラマは、式に列席した人々のそれぞれの出来事を、翌日の朝まで並行的に描いてゆく。恋人たちの別離がある。身ごもった女性の悲しみがある。病気の俘虜を見殺しにした男の怒りがある。ほほえましく誠実な初夜がある。そして、運命の日の早朝、難産の末にこの世



に誕生した赤ん坊の無心な笑顔がある……。

ささやかな歓びと秘められた哀しみに生きる無名の人々の群像を、やさしく澄んだ目差しで追いかながら、戦時下の日本人の1日を、見事なまでに再現する。

監督は「竜馬暗殺」「祭りの準備」の黒木和雄。撮影は「とべない沈黙」以来黒木監督とは名コンビの鈴木達夫。「ハチ公物語」、「この愛の物語」の鍋島壽夫が製作にあたり、松村禎三が音楽を担当した。

出演陣は桃井かおり、南果歩、仙道敦子、水島かおり等のフレッシュな女優陣、そして馬渕晴子、田中邦衛、なべおさみ、原田芳雄、長門裕之などのベテランがそれぞれ陰影にとんだ好演をきそっている。

声高に反核、反戦をいうことなく、語りついべき、歴史の証言を見事に描ききった必見の名作である。

C
o
R
e

(財)黒部市国際文化センター

コラーレ

〒938 富山県黒部市三日市20

TEL (0765) 57-1201

FAX (0765) 57-1207